9S51・9S55

取扱説明書

INSTRUCTION

SEIKO

目次

■ご使用方法 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・4
■使用上のご注意とお手入れの方法 ・・・・・・・・・・・・・12
■こんな時には ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・18
■製品仕様 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・19
■機械式時計の精度について ・・・・・・・・・・・・・・・・・・20
■GRAND SEIKO級について ・・・・・・・・・・・・・・・・・・23
■アフターサービスについて ・・・・・・・・・・・・・・・・・・28
■補修用性能部品について ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・29

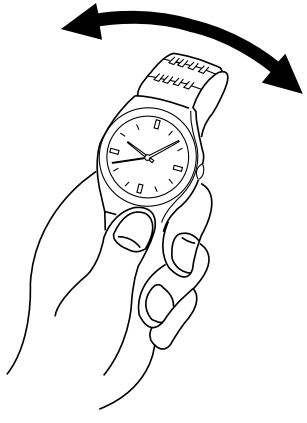
■ご使用方法

※自動巻き式機械時計の取扱いかた（9S51・9S55）

この時計は、自動巻き式機械時計（手巻き付き）です。

・ゼンマイは時計を腕につけた状態では通常の腕の動きで自然に巻くことができます。
　また、リュウズをまわしてゼンマイを巻くこともできます。

・止まっている時計をお使いになるときは、リュウズをまわすか、時計を振って時計を始動させてください。秒針が動きだしたら時刻を合わせて腕におつけください。



・ゼンマイを巻く際にはリュウズを右方向（12時方向）にゆっくりまわしてください。なお、リュウズを左方向（６時方向）に回してもゼンマイは巻き上がりません。
ゼンマイは、リュウズを約40回転すれば充分に巻き上げることができます。また、巻き上げが完了してもリュウズを回すことができますが、ゼンマイが切れる心配はありません。

・ゼンマイが充分に巻き上げられた状態での持続時間は約50時間です。（ゼンマイの巻き上げが不足すると進み遅れの原因になりますので、１日10時間以上携帯することをおすすめします。）なお、時計を腕に着けないでご使用される場合は、毎日、一定の時刻にゼンマイを充分に巻いてご使用ください。

1．日付表示なし（9S51）の場合

〈各部の名称〉

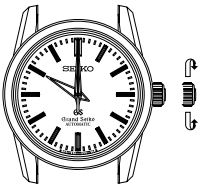
〈時計の合わせ方〉

1

針が動いているのを確認した上で秒針が12時を指した時に、リュウズを引き出します。秒針が止まります。

ネジロックタイプのモデルはリュウズを左に回してネジをゆるめ、リュウズを引き出します。

2



リュウズをまわして時刻を合わせてください。

※機械時計はクオーツ時計と機構が異なりますので、時刻を合わせる際には針をいったん正しい時刻よりやや遅らせておき、そこから進めて合わせるようにしてください。

※時刻合わせは、電話の時報サービスTEL.117が便利です。

3

時報と同時にリュウズを押し込むと動き始めます。

ネジロックタイプのモデルはリュウズを押しつけながら右に止まるところまでネジ込んでください。

2．日付表示つき（9S55）の場合

〈各部の名称〉

この時計には、日付表示機能が付いています。24時間に１回日付を１日分送るようになっています。

※日付は、午前０時ごろ送るようになっています。よって、午前と午後を間違えて時刻合わせをしてしまうと、昼の12時に日付が変わってしまいます。

〈時計の合わせ方〉

1

リュウズを一段目に引き出します

ネジロックタイプのモデルはリュウズを左に回してネジをゆるめ、リュウズを１段引き出します。

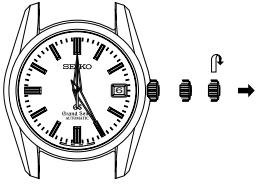
2

9

リュウズを右方向（12時方向）へまわすことで、日付の修正ができます。
まず、合わせたい日の前日の日付に合わせます。
例えば、今日が６日とすると５日に合わせます。

・時刻表示が午後10時から午前１時までの間、日付の修正はしないでください。この時間帯に日付を修正しますと、翌日になっても日付は変わらないことがあります。

3

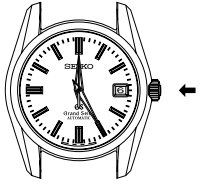


針が動いているのを確認した上で秒針が12時を指した時に、リュウズを二段目まで引き出します。秒針が止まります。リュウズをまわして針が進む方向にまわし、日付が今日の日付になるまでまわしてください。日付が変わると「午前」です。さらに進めて現在の時刻に合わせます。

※機械時計はクオーツ時計と機構が異なりますので、時刻を合わせる際には針をいったん正しい時刻よりやや遅らせておき、それから進めて合わせるようにしてください。

※時刻合わせは、電話の時報サービスTEL.117が便利です。

4



時報と同時にリュウズを押し込むと動き始めます。

ネジロックタイプのモデルはリュウズを押しつけながら右に止まるところまでネジ込んでください。

〈月末の日付修正について〉

２月（１カ月が28日、うるう年は29日）と小の月（１カ月が30日）では日付の修正が必要になります。

例：小の月の翌月１日の朝、日付を修正する場合
①「１日」ではなく「31日」が表示されています。リュウズを一段目に引き出してください。ネジロックタイプのモデルはリュウズを左に回してネジをゆるめ、リュウズを１段引き出します。
②リュウズを右回転させ、日付を「１日」に合わせ、リュウズを押し込んでください。ネジロックタイプのモデルはリュウズを押しつけながら右に止まるところまでネジ込んでください。

・時計の針が午後10時から午前１時までの間は、日修正は避けてください。この時間帯に日付を合わせますと、翌日になっても日付が変わらないことがあります。

■使用上の注意とお手入れの方法

⚠注意

日常のお手入れ

・ケースやバンドは肌着類と同様に直接肌に接しています。汚れたままにしておくとサビて衣類の袖口を汚したり、かぶれの原因になることがありますので常に清潔にしてご使用ください。
・時計を外したときは、柔らかい布などで汗や水分をふき取るだけで汚れや、ケース・バンド及びパッキンの寿命が違ってきます。

〈革バンド〉
・革バンドは、柔らかい布などで吸い取るように軽くふいてください。こするようにふくと色が落ちたり、ツヤがなくなったりする場合があります。

〈金属バンド〉
・金属バンドは、ときどき柔らかい歯ブラシなどを使い、部分洗いなどのお手入れをお願いします。

⚠注意

かぶれやアレルギーについて

・バンドは多少余裕を持たせ、通気性をよくしてご使用ください。
・かぶれやすい体質の人や、体調によっては、皮膚にかゆみやかぶれをきたすことがあります。
・かぶれの原因として考えられるのは、
　１．金属・皮革に対するアレルギー
　２．時計本体及びバンドに発生した錆、汚れ、付着した汗などです。
・万一肌などに異常を生じた場合は、ただちに使用を中止し、医師にご相談ください。

⚠ 注意

防水性能

・時計の文字板または裏ぶたにある防水性能表示をご確認の上、ご使用ください。
・水分のついたままリュウズを回したり、引き出したりしないでください。時計内部に水分が入ることがあります。

時計の防水表示 上段：文字板 下段：裏ぶた	使用例 防水の基準	 雨や洗顔など日常生活で予想される「水がかかる」程度	 水に関係の薄い仕事(農水産・重工・食堂など)やスポーツ(水泳やヨット)で使用できる程度	 空気ボンベを使用しない潜水（スキンダイビング）で使用できる程度	 空気ボンベを使用する潜水(スキューバ潜水)に使用できる	 ヘリウムガスを使用する潜水方式(飽和潜水)に使用できる
表示なし 表示なし	非防水	×	×	×	×	×
表示なし WATER RESIST	日常生活用防水 （3気圧防水）	○	×	×	×	×
表示なし WATER RESIST WATER RESIST 5 BAR のいずれか	日常生活用強化防水 （5気圧防水）	○	○	×	×	×
表示なし WATER RESIST 10 BAR のいずれか WATER RESIST 10 BAR	日常生活用強化防水 （10気圧防水）	○	○	○	×	×
表示なし WATER RESIST 20 BAR のいずれか WATER RESIST 20 BAR	日常生活用強化防水 （20気圧防水）	○	○	○	×	×

⚠警告

・日常生活用防水（３気圧）の時計は水の中に入れてしまうような環境での使用はできません。
・日常生活用強化防水（５気圧）の時計は、スキンダイビングを含めて全ての潜水に使用できません。
・日常生活用強化防水（10、20気圧）の時計は、飽和潜水／空気潜水には使用できません。

その他、携帯上ご注意いただきたいこと

・転倒時や他人との接触などにおいて、時計の装着が原因で思わぬケガを負う場合がありますのでご注意ください。
・特に乳幼児を抱いたりする場合は、時計に触れることでケガを負ったり、アレルギーによるかぶれをおこしたりする場合もありますので、十分にご注意ください。
・落としたりぶつけたりはもちろんのこと、激しいスポーツなどによるショックもお避けください。時計が一時的に遅れたり進んだりします。

保管について

・「－10℃～＋60℃からはずれた温度」下では機能が劣化したり、停止したりする場合があります。
・磁気の影響（テレビ、スピーカ、磁気ネックレス等）があるところに放置しないでください。
・強い振動のあるところに放置しないでください。
・極端にホコリの多いところに放置しないでください。
・薬品の蒸気が発散しているところや薬品にふれるところに放置しないでください。
（薬品の例：ベンジン、シンナーなどの有機溶剤、およびそれらを含有するもの＝ガソリン、マニキュア、化粧品などのスプレー液、、クリーナー剤、トイレ用洗剤、接着剤など＝水銀、ヨウ素系消毒液など）
・温泉や、防虫剤の入った引き出しなど特殊な環境に放置しないでください。

定期点検について

・機種9S51／9S55の点検及び分解掃除はメーカーにて行ないますので、販売店にはメーカーへ依頼するようお申しつけください。

・ながくご愛用いただくために、２～３年に一度程度の分解掃除による点検調整をおすすめします。
ご使用状況によっては、機械の保油状態が損なわれたり、油の汚れなどによって部品が磨耗し、時計の進み、遅れが大きくなることがあります。また、パッキン等の部品の劣化が進み、汗や水分の侵入などをで防水性能が損なわれる場合があります。
分解掃除による点検調整を、お買い上げ店にご依頼ください。

・部品交換の時は、「純正部品」とご指定ください。

・定期点検の際には、パッキンやバネ棒の交換もあわせてご依頼ください。

■こんな時には

現象	考えられる原因	このようにしてください
時計が止まった。	・ゼンマイが巻かれていない。	・ゼンマイを巻いて、数回振れば動き出します。それでも、動かない場合は、お買い上げ店にご相談ください。
時計が一時的に進む／遅れる。	・磁気を発生するもののそばに置いた。	・精度は、磁気の発生するものから離せば元にもどります。 ・元にもどらない場合は、お買い上げ店にご相談ください。
	・落としたり強くぶつけたり、または激しいスポーツをした。 ・強い振動が加えられた。	・精度は、元にもどりません。お買い上げ店にご相談ください。
	・３年を越える長期間、分解掃除による点検調整を行っていない。	・お買い上げ店にご相談ください。
日付が日中に変わる。	・時刻合わせが12時間ずれている。	・12時間針を進めて時刻を合わせてください。
ガラスのくもりが消えない。	・パッキンの劣化などにより時計内部に水分が入った。	・お買い上げ店にご相談ください。

その他の現象は、お買い上げ店にご相談ください。

■製品仕様

機　種	9S51	9S55
1．機能	3針（時、分、秒）	3針（時、分、秒）・日
2．振動数	28,800振動／時間	
3．精度	平均日差※　＋5秒～－3秒	
4．駆動方式	ゼンマイ巻［自動巻（手巻付き）］	
5．使用石数	24石	26石

平均日差※：6姿勢で12日間ムーブメントを固定して測定した日差の平均値です。

※ご使用になる条件（携帯時間、腕の動き、ゼンマイの巻き上げ具合等）によっては、上記精度の範囲を超える場合があります。

※上記の製品仕様は、改良のため予告なく変更することがあります。

■機械式時計の精度について

機械式時計は、現在広く一般的に普及しているクオーツ時計とはまったく違った特性があります。次にいくつかのポイントを挙げますので、ぜひご一読の上ご理解いただき、機械式時計を毎日より良い性能でお使いいただくためにお役立て下さい。

①機械式時計の仕組み

クオーツ時計は、電池からの電力を水晶とICによって非常に正確な信号に変換することで時計の精度を電子的に制御しています。

機械式時計は、ゼンマイの力を動力にして、小さな金属部品が物理的に働き合い、ヒゲゼンマイなどの微細な部品の調節によって精度をコントロールする機構です。

これらの微細な部品は、温度や重力、衝撃などの外部環境や、携帯時間やゼンマイの巻上げ量といった使用状況の影響を受けやすく、それが「一日に何秒」といった時計の進み・遅れとして現れてきます。

②機械式時計の精度は平均日差

クオーツ時計の精度は月差±15秒や年差±10秒というように、月や年単位で表されます。これは、一ヶ月あるいは一年を通して使った場合にトータルの精度誤差がどの位であるか、ということを示しています。

これに対し機械式時計の精度は、「平均日差」と表現するのが一般的です。

機械式時計の精度は様々な条件を受けて毎日微妙に変化し、一定していないのが普通です。そこで、進み・遅れは一日のみで判断せず、一週間から十日間程度の期間の平均値から判断するのです。

③静的精度と携帯精度

機械式時計は、同じ時計であっても使われる環境が異なれば精度も違ってきます。そこで機械式時計の性能・実力をなるべく公平に評価・表示するために、スイスのクロノメーター検定やグランドセイコー規格検定では、ケース組込み前のムーブメント単体の状態で、製造工場内で人工的に管理された様々な温度・姿勢（向き）の条件下での進み・遅れを測定します。これを「静的精度」と呼びます。(⇒グランドセイコー規格について詳しくはＰ．23)

したがいまして、グランドセイコー歩度証明書に記載されているデータは、お客様が実際に携帯使用されたときの進み・遅れ（携帯精度）とは異なる数値なのです。

グランドセイコーの携帯精度は、－１～＋10秒／日が目安です。通常のご使用状態で一週間から十日間程度お使いになった際の平均値がこの目安範囲を超えてしまう場合は、調整させていただきます。

＊日本国内のみ。ご購入後2年以内は無償、それ以降は有償。ただしご使用期間が長く、部品が経年劣化している場合にはご希望の精度に調整できないこともありますので予めご了承ください。また、精度調整には、精度確認のための実測期間も含まれますので、通常の修理より時間をいただきます。ご依頼の際に納期を予めご確認ください。

④精度に影響を与える要素：その１　ゼンマイの巻上げ量

機械式時計をより良い精度でお使いいただくためには、ゼンマイがなるべく一定した強いエネルギーを各部品に供給することが重要です。

ゼンマイがいっぱいに巻き上げられている状態では精度も安定していますが、ゼンマイがほどけてきて供給されるエネルギーが弱まると精度を制御する部品が外部か

らの影響を受けやすくなり、精度も不安定になるのです。
安定した精度を得るためには、できるだけ一日一回は一定の時刻にゼンマイを充分巻き上げることをお勧めします。

⑤ 精度に影響を与える要素：その２　温度の影響

機械式時計を構成する部品は金属製なので、温度の変化によって微妙に膨張・収縮します。高温時には機械式時計の精度を制御する部品が伸び、動きもやや緩慢になりますので、一般的に精度は遅れがちになります。低温時には逆の理由で、進みがちになります。真夏や真冬の極端に寒暖が激しい季節には、以上のような条件をご理解のうえで機械式時計の精度をみることが肝要です。

⑥ 精度に影響を与える要素：その３　姿勢（時計の向き）による差

機械式時計の精度を制御する部品は、地球の重力からも影響を受けています。つまり時計を水平にしたときや、12時側や竜頭を上にして縦にしたとき等、すべての姿勢（時計の向き）の違いによって進み・遅れが変わるのです。
したがって機械式時計を実際にお使いになる場合、腕に着用しているときと夜間等に腕から外して置いておくときでも精度は違ってきますが、この両方を含んだものが「携帯精度」です。
時計を腕に着用しないときは、置きかたによって着用中に生じた精度の誤差をある程度補正できます。様々な向きをお試しになり、ご自分の時計に合う置き方を見つけてください。

■GRAND SEIKO級について

（1）GRAND SEIKO規格

項目	単位	新GS規格 1998年規格
平均日差	(s/d)	−3.0 ～ +5.0
平均日較差	(s/d)	1.8以下
最大日較差	(s/d)	4.0以下
水平垂直差	(s/d)	−6.0 ～ +8.0
最大姿勢偏差	(s/d)	8.0以下
第一温度係数	(s/d/℃)	−0.5 ～ +0.5
第二温度係数	(s/d/℃)	−0.5 ～ +0.5
復元差	(s/d)	−5.0 ～ +5.0
検定姿勢数		6姿勢
検定温度		8，23，38℃
検定日数		17日間

（２）歩度証明書の読みかた

１＝証明書番号
２＝機械番号
３＝機械の固有番号
４＝ケースの固有番号
５＝検定日数
６＝日差のデータ、秒単位
７＝日較差のデータ、秒単位
８＝姿勢
９＝温度
10＝平均日差、秒単位
11＝平均日較差、秒単位
12＝最大日較差、秒単位
13＝水平・垂直の姿勢差、秒単位
14＝最大姿勢偏差、秒単位
15＝第一温度係数、秒単位
16＝第二温度係数、秒単位
17＝復元差、秒単位
18＝検定日

GS
Grand Seiko
AUTOMATIC
歩度証明書
Rating Certificate

証明書番号 ①
Certificate No.

機種番号 ②
Caliber No.

ムーブメント製造連番 ③
Movement Serial No.

ケース製造連番 ④
Case Serial No.

セイコーウオッチ株式会社
SEIKO WATCH CORPORATION

SEIKO

⑤ 日数 Days	⑥ 日差 Daily rates (s/day)	⑦ 日較差 Variation of the daily rates (s/day)	⑧ 姿勢 Positions	⑨ 温度 Temperatures
1			垂直 6 時上 Vertical, 6 o'clock up	
2				
3			垂直 3 時上 Vertical, 3 o'clock up	
4				
5			垂直 9 時上 Vertical, 9 o'clock up	
6				
7			垂直12 時上 Vertical, 12 o'clock up	
8				
9			水平文字板下 Horizontal, dial down	
10				
11			水平文字板上 Horizontal, dial up	
12				
13			水平文字板上 Horizontal, dial up	
14				
15				
16			垂直 6 時上 Vertical, 6 o'clock up	
17				

試験成績
SUMMARY

⑩
⑪ 平均日差 (s/day)
⑫ 平均日較差 (s/day)
⑬ 最大日較差 (s/day)
水平垂直差 (s/day)

⑭ 最大姿勢偏差 (s/day)
⑮ 第一温度係数 (s/day／℃)
⑯ 第二温度係数 (s/day／℃)
⑰ 復元差 (s/day)

検定日 (Date of inspection) ⑱

検定：セイコーインスツルメンツ株式会社
Seiko Instruments Inc.

歩度証明書は、ムーブメント単体で測定した出荷時の静的精度を記載しているものです。紛失および修理・調整後の歩度証明書の再発行はいたしません。

（３）用語説明

	項目名	歩度証明書に記載されている内容と意味
A	日差 （Daily rates）	１日当たりの進み・遅れの実測値のこと 秒／日の単位で示す
B	日較差 （Variation of the daily rates）	同一条件（姿勢・温度・ゼンマイ巻き上げ量）での日差のばらつき（変化量）のことで、秒／日の単位で示す
C	姿勢 （Positions）	GS検定中で静置されるムーブメントの姿勢のことで、以下の６姿勢がISO3158で定義されている。 ①水平・文字板上（Horizontal, Dial Up：DU） ②水平・文字板下（Horizontal, Dial Down：DD） ③垂直・３時上（Vertical, 3 O'clock UP：３U） ④垂直・６時上（Vertical, 6 O'clock UP：６U） ⑤垂直・９時上（Vertical, 9 O'clock UP：９U） ⑥垂直・12時上（Vertical, 12 O'clock UP：12U）
D	温度 （Temperatures）	GS検定中でムーブメントがおかれる温度環境のことで、以下の３温度である。 ①38℃ ②23℃ ③８℃
E	平均日差 （Mean daily rate in different positions）	異なる６姿勢で各２日づつ実測した合計12の日差データの平均値のことで、秒／日の単位で示す。
F	平均日較差 （Mean variation）	異なる６姿勢で各２日づつ実測した日差の１日目と２日目の日差のばらつき（変化量）６データの平均値のことで、秒／日の単位で示す。

G	最大日較差 （Maximum variation）	異なる６姿勢で各２日づつ実測した日差の１日目と２日目の日差のばらつき（変化量）６データ中の最大値のことで、秒／日の単位で示す。
H	垂直・水平差 （Difference between flat and hanging position）	日常生活で最も使われると想定される２姿勢における日差の変化を表す。時計を垂直・６時上に置いた場合の２日間の平均日差と、水平・文字板上に置いた場合の２日間の平均日差との差で、秒／日の単位で示す。
I	最大姿勢偏差 （Greatest difference between the mean daily rate and any individual rate）	試験初期の12日間の日差と、平均日差との差の最大値。時計の置き方により、日差がどの程度変化しているかを表し、秒／日の単位で示す。
J	第一温度係数 （First variation of rate per 1° centigrade（From 38℃ to 8℃））	同一姿勢（水平・文字板上）において、38℃から８ ℃までの環境で１℃あたりの日差の変化を表し、秒／日／℃の単位で示す。
K	第二温度係数 （Second variation of rate per 1° centigrade（From 38℃ to 23℃））	同一姿勢（水平・文字板上）において、38℃から23 ℃までの環境で１℃あたりの日差の変化を表し、秒／日／℃の単位で示す。
L	復元差 （Rate-resumption）	検定最後の１日の日差から最初の２日間の平均日差を差し引いた値で、時計をある一定期間使用後に、日差がどの程度安定しているかを表し、秒／日の単位で示す。

■アフターサービスについて

・お買い求めいただきましたグランドセイコーは厳重な検査、調整を行った後、お手元にお届けしております。しかし、取扱説明書にそった正常なご使用状態で保証期間内に万一、不具合が生じた場合には保証書をそえて、お買い上げ店へお持ちください。メーカにて無料で修理、調整させていただきます。保証内容は、保証書に記載してあります。

・保証期間経過後の修理およびグランドセイコーについてのご相談は、お買い上げ店でうけたまわっております。
なお、ご不明な点は58頁の「セイコーウオッチ株式会社お客様相談室・お客様相談係」へお問い合わせください。

■補修用性能部品について

・グランドセイコーの補修用性能部品の保有期間は通常10年間を基準としています。正常なご使用であれば、この期間中は原則として修理可能です。（補修用性能部品とは、時計の機能を維持するのに不可欠な修理用部品です。）

・修理可能な期間はご使用条件によりいちじるしく異なり、精度が元通りにならない場合もありますので、修理ご依頼の際にお買い上げ店とよくご相談ください。

・修理のとき、ケース・文字板・針・ガラス・バンドなどは一部代替部品を使用させていただくことがありますのでご了承ください。

・その他、わからない点がありましたら、「セイコーウオッチ株式会社お客様相談室・お客様相談係」にお問い合わせください。